←フェイスブック QRコード
菊池市　協力隊

地域おこし協力隊通信 vol.21

市では地域おこし協力隊として、現在12人が活動しています。各自の取り組みを報告します。

さまざまなイベントに夫婦で参加

ワイン関係の前職を生かして企画したきくちわいん会は大好評

きくちの母ちゃんと受賞式に臨みました

ブランド推進マネージャー
前島 赳さん

郷土料理の商品開発に成功 菊池に来て良かった！

当初は菊池の人に受け入れてもらえるか不安でしたが、市民も職場も優しい人がいっぱい。とても充実した生活が送れました。私の任務は菊池の農産物のブランド力を高めること。コンクールで受賞できる商品開発を目標にしましたが、当初は不安もありました。

2年目に入り、シイタケ生産者の女性加工グループ「きくちの母ちゃん」が作る「きのこ南蛮」の商品化を企画しました。「地元に愛され、特産として根強く残る加工品にしたい」との思いを胸に、試行錯誤の末2年目の最後に発売。県の農産物加工食品コンクールで最優秀賞を受賞し、熊本代表になりました。現在は郷土料理を勉強中。新たなブランド化もしたいのですが、食の勉強をしているとお腹が減るのが悩みです。

地元の人とも仲良く交流できていて、3年前には想像もできなかった充実した生活を送っています。卒業後も菊池に残るので、これからもよろしくお願いします。

【問い合わせ先】
企画振興課 ☎0968(25)7250

キクロス1周年イベントに協力隊も参加しました

各隊員が特技を活かして参加した1周年イベント。橋本眞也隊員は、菊池の歴史がテーマの絵画を展示。公募展に入選する実力を発揮しました。小森田百合子隊員は「えいごのおはなし会」を実施。流暢な英語で絵本の読み聞かせをして、子どもたちは大喜びでした。

草野優二隊員は実家が喫茶店。集まった幅広い世代の参加者に、コーヒーのブレンド講座を行いました。また、コーヒーのお茶請けとして前島赳隊員が菊池の銘菓「松風」のアレンジスイーツを提供しました。松枝智博隊員は、日常で使える心理学のワークショップを開催。熱心な参加者とは専門用語が飛び交い、盛り上がりを見せました。

展示コーナーでは、広報きくち「地域おこし協力隊通信」の特別版を製作。岩本晃彦隊員がプロデュースし、パネル化して展示しました。各協力隊の活動内容や個性を書いた文章に、多くの来場者が足を止めて見ていました。

地域の人たちに活動をもっと知ってもらえるよう、今後も周知を続けていきます。

【写真】1心理学をレクチャーする松枝隊員 2・7隊員のパネルの前には仕事に関するものを展示 3当日配布するフライヤーを準備する岩本隊員 4・8草野隊員のコーヒー講座は大盛況 5橋本隊員が描いた「幻の城下町〝菊池〟」6英語で読み聞かせをする小森田隊員